

# 平成26年度 第4回

## 受注登録企業動向調査結果報告書

### <概要>

前回調査と比較して、DI値は全調査項目で上昇し改善の傾向が見られる。特に、採算状況では、全ての業種でDI値が上昇との結果が見られる。

### <今回調査の特徴>

- 受注量：精密機器で大きく増加。
- 受注見通し：樹脂製品で大きく「増加」の見通し。
- 受注単価：「上昇」、「低下」ともほとんど変化なく、依然厳しいものの、「低下」の回答は減少傾向。
- 資金繰り：前期調査と比較して全業種で改善の傾向。
- 採算状況：輸送用機器で唯一DI値マイナス。
- 受注余力：「余力あり」72.3%。一般機器では「余力あり」は半数以下。

(平成27年3月末現在)

公益財団法人 **京都産業21**

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

### (2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 285企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	35企業	② 金属製品関係	45企業
③ 一般機器関係	45企業	④ 電気機器関係	45企業
⑤ 輸送用機器関係	35企業	⑥ 精密機器関係	40企業
⑦ 樹脂製品関係	40企業		

### (3) 調査時点

平成27年3月31日現在

### (4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

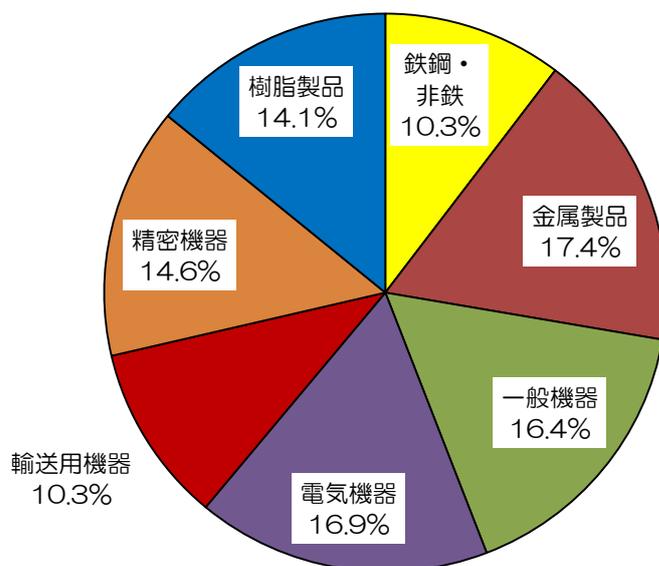
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

### (5) 回答状況

① 調査対象企業数	285 企業		
② 回答企業	213 企業		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	22 企業	( 10.3% )
	金属製品関係	37 企業	( 17.4% )
	一般機器関係	35 企業	( 16.4% )
	電気機器関係	36 企業	( 16.9% )
	輸送用機器関係	22 企業	( 10.3% )
	精密機器関係	31 企業	( 14.6% )
	樹脂製品関係	30 企業	( 14.1% )
④ 回答率	74.7 %		

## 2. 回答企業の概要

### (1) 業種別回答企業の内訳



### (2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	4 1.9%				1 2.8%		1 3.2%	2 6.7%
~300万円	15 7.0%		2 5.4%		1 2.8%	6 27.3%	3 9.7%	3 10.0%
301~999万円	9 4.2%		2 5.4%			3 13.6%	2 6.5%	2 6.7%
1000~2000万円	126 59.2%	13 59.1%	27 73.0%	20 57.1%	25 69.4%	6 27.3%	18 58.1%	17 56.7%
2001~5000万円	44 20.7%	5 22.7%	6 16.2%	13 37.1%	7 19.4%	3 13.6%	5 16.1%	5 16.7%
5000万円超	15 7.0%	4 18.2%		2 5.7%	2 5.6%	4 18.2%	2 6.5%	1 3.3%
合 計	213 100%	22 100%	37 100%	35 100%	36 100%	22 100%	31 100%	30 100%

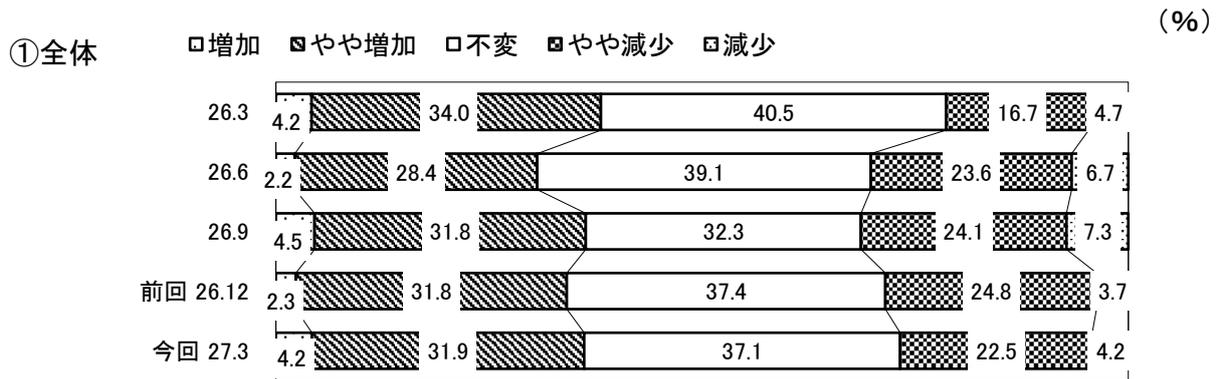
### (3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

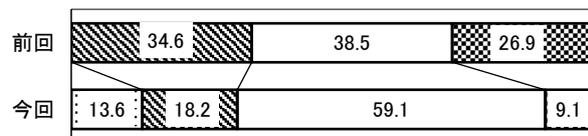
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	19 8.9%	4 18.2%		2 5.7%	2 5.6%	5 22.7%	2 6.5%	4 13.3%
6~10人	25 11.7%	4 18.2%	3 8.1%	2 5.7%	4 11.1%	4 18.2%	6 19.4%	2 6.7%
11~20人	61 28.6%	3 13.6%	14 37.8%	11 31.4%	7 19.4%	5 22.7%	11 35.5%	10 33.3%
21~30人	32 15.0%	3 13.6%	10 27.0%	6 17.1%	5 13.9%	1 4.5%	3 9.7%	4 13.3%
31~50人	33 15.5%	5 22.7%	5 13.5%	6 17.1%	7 19.4%	1 4.5%	4 12.9%	5 16.7%
51人以上	43 20.2%	3 13.6%	5 13.5%	8 22.9%	11 30.6%	6 27.3%	5 16.1%	5 16.7%
合 計	213 100%	22 100%	37 100%	35 100%	36 100%	22 100%	31 100%	30 100%

### 3. 調査結果

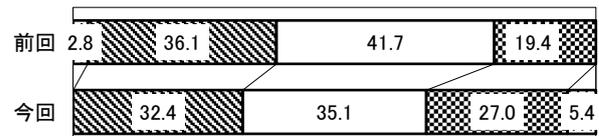
#### (1) 受注量について



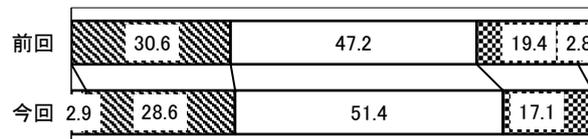
#### ②鉄鋼・非鉄



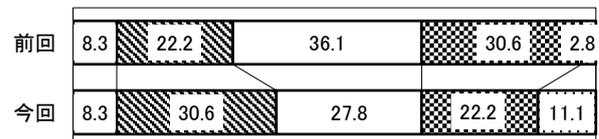
#### ③金属製品



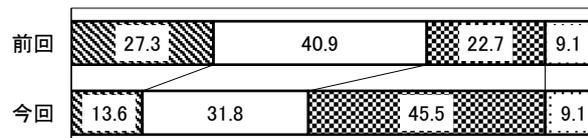
#### ④一般機器



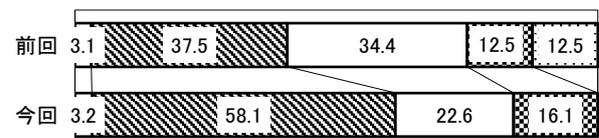
#### ⑤電気機器



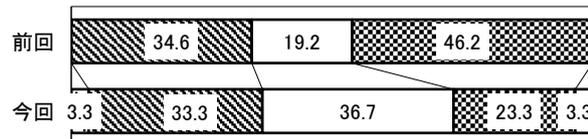
#### ⑥輸送用機器



#### ⑦精密機器



#### ⑧樹脂製品



#### ○全体

1月～3月期の全体の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は9.4となり、前期（10月～12月）に比べ3.8ポイント上昇と改善の傾向がみられる。

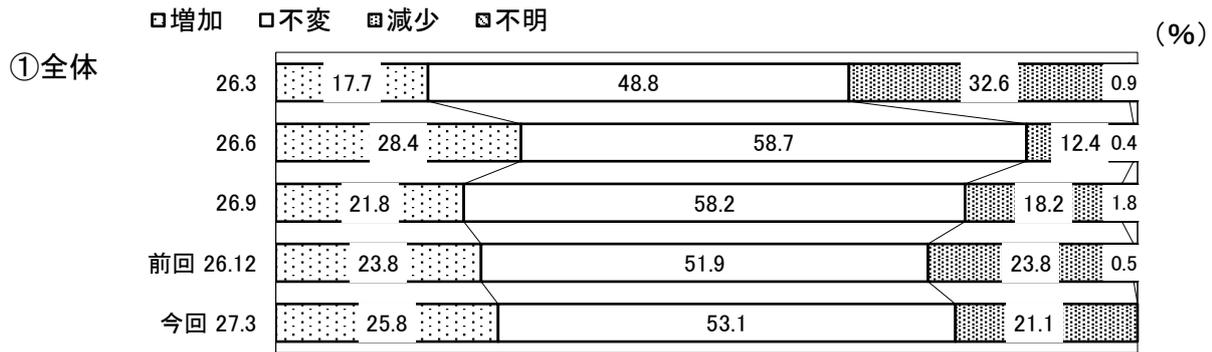
#### ○業種別

業種別D Iでは、精密機器で45.2（前期差29.6ポイント上昇）と大きく改善が見られた。前回は前々回の反動でポイント低下が見られたものの、D I値はプラスの状態が続いている。

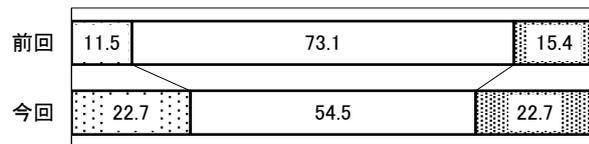
また、樹脂製品でも、「減った」とする回答が大きく減少し、10.0（前期差21.6ポイント上昇）と改善が見られる。

一方、輸送用機器で△41.0（前期差36.5ポイント低下）と大きく悪化の傾向となっているほか、金属製品でも±0（前期差19.5ポイント低下）と悪化の傾向が見られる。

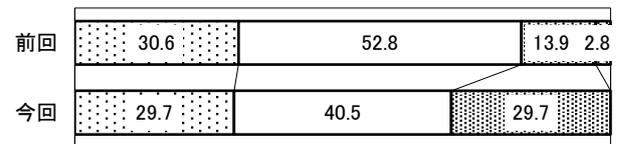
(2) 受注量の見通しについて



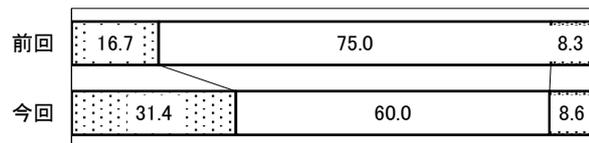
②鉄鋼・非鉄



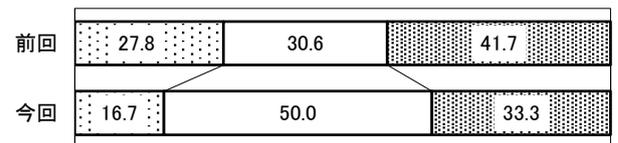
③金属製品



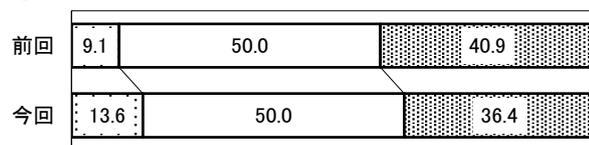
④一般機器



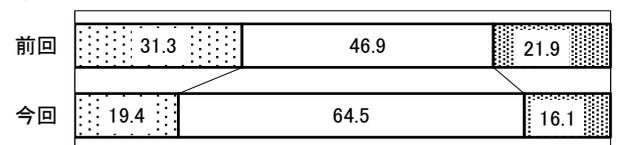
⑤電気機器



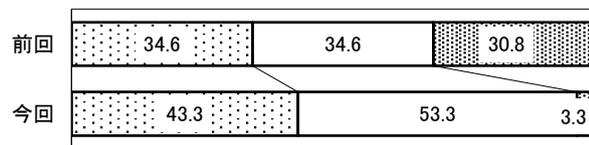
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

次期（4月～6月期）受注量見通しの全体の業況判断D I（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は4.7となり、前回（1月～3月）に比べ4.7ポイント改善の見通しとなっている。

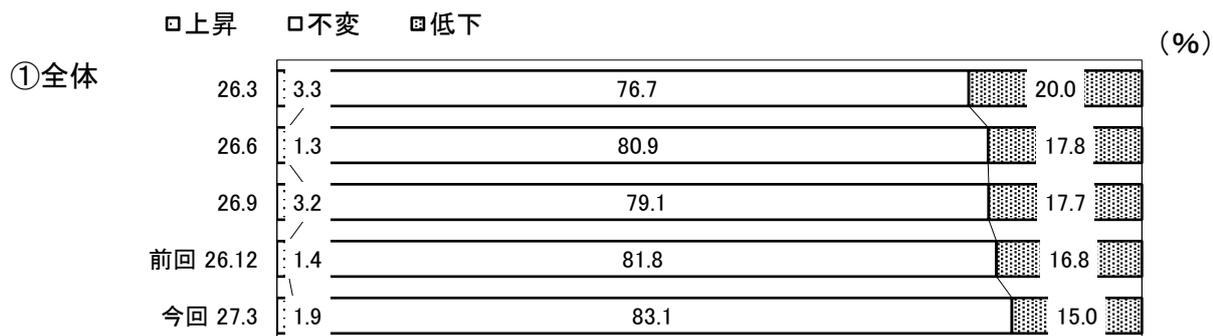
○業種別

業種別D Iは、受注量で改善の見られた樹脂製品で40.0（前期差36.2ポイント上昇）と引き続き好調に推移の見通しで、特に、「減少」の回答が3.3%と極端に少ない。

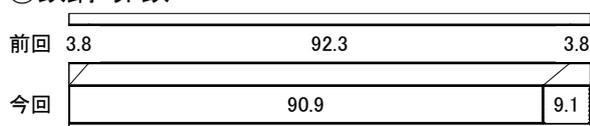
一般機器でも、22.8（前期差14.4ポイント上昇）と増加の見通しである。

一方、金属製品では±0（前期差16.7ポイント低下）と受注量とともに悪化の傾向である。同じく受注量で悪化が見られた輸送用機器でも、前期に比べるとやや改善はしてるものの、△22.8と厳しい見通しとなっている。

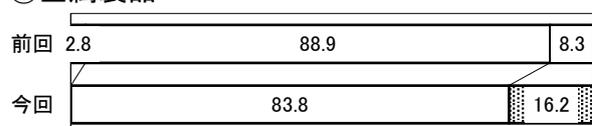
### (3) 受注単価について



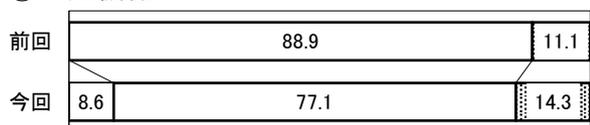
#### ②鉄鋼・非鉄



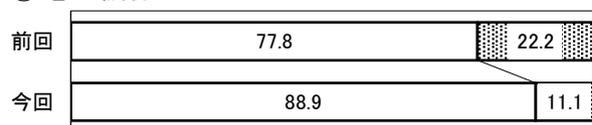
#### ③金属製品



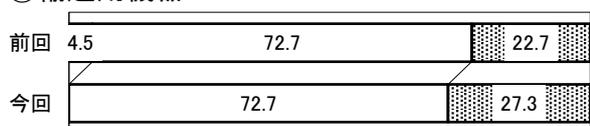
#### ④一般機器



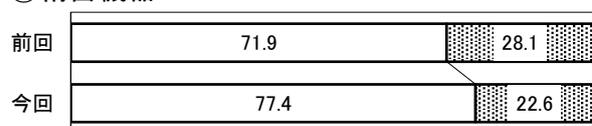
#### ⑤電気機器



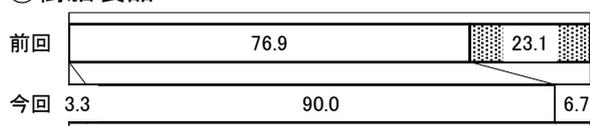
#### ⑥輸送用機器



#### ⑦精密機器



#### ⑧樹脂製品



#### ○全体

1月～3月期の全体の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は「上昇」微増、「低下」微減で、△13.1（前期差2.3ポイント上昇）と僅かに改善となっている。

少しずつであるが、「低下」の占める割合は調査ごとに減っている。

#### ○業種別

業種別DIは、全業種ともマイナスであるが、6.7%と「低下」の回答が大きく減った樹脂製品で、△3.4（前期差19.7ポイント上昇）と改善が見られる。

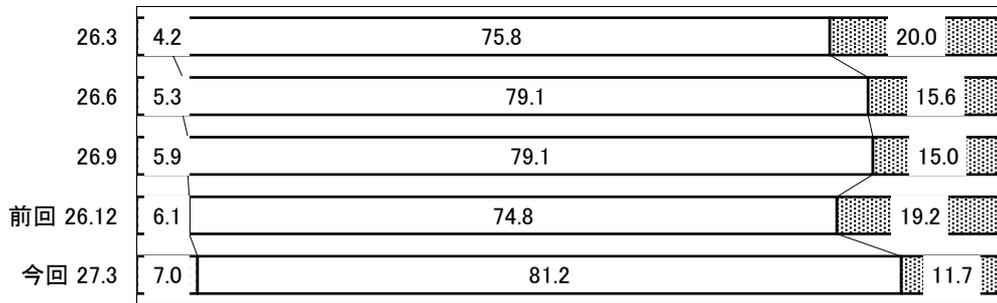
輸送用機器及び精密機器では、前回同様「低下」とする回答が20%以上を占め、「上昇」の回答は見られない。

(4) 資金繰りについて

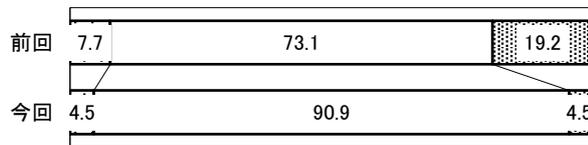
(%)

①全体

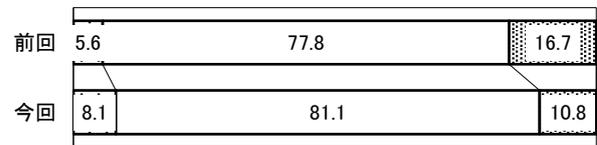
□好転 □不変 □悪化



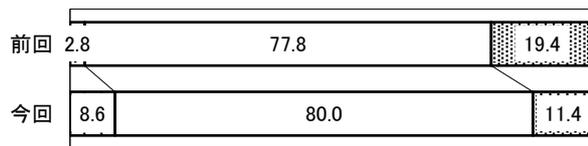
②鉄鋼・非鉄



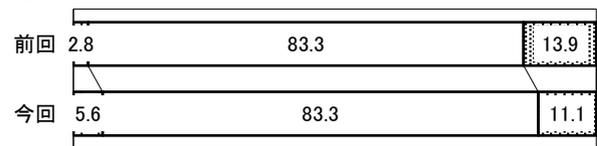
③金属製品



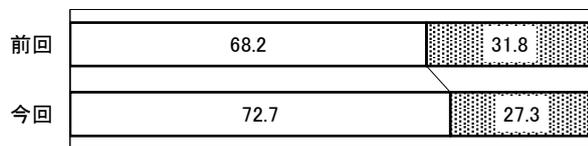
④一般機器



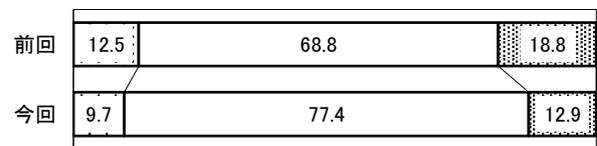
⑤電気機器



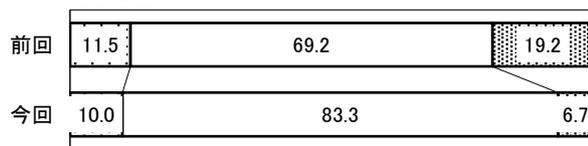
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

1月～3月期の全体の業況判断DI（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は、△4.7（前期差8.4ポイント上昇）と改善傾向が見られる。

○業種別

業種別DIは、全ての業種で前期と比べて上昇しており、特に、樹脂製品では、3.3（前期差11.0ポイント上昇）と唯一プラスとなっている。

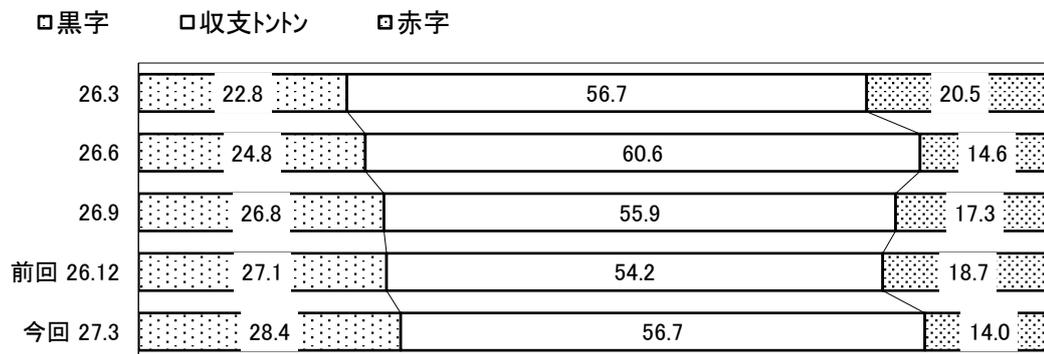
他に、鉄鋼・非鉄で±0（前期差11.5ポイント上昇）、一般機器で△2.8（前期差13.8ポイント上昇）などで改善が見られる。

輸送用機器では、前期差4.5ポイント上昇したものの、「悪化」が27.3%と依然として厳しい状況である。

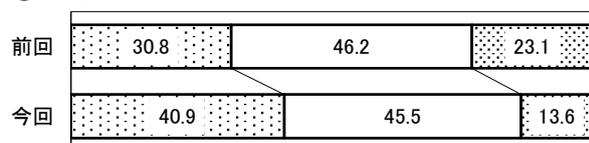
(5) 採算状況について

(%)

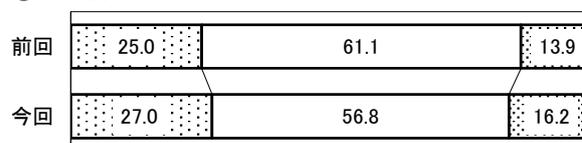
①全体



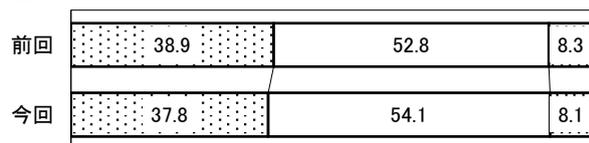
②鉄鋼・非鉄



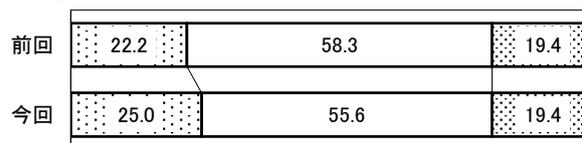
③金属製品



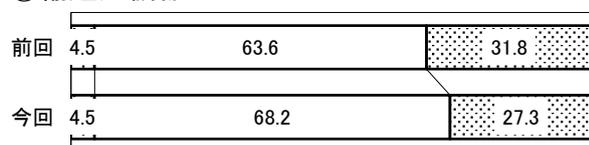
④一般機器



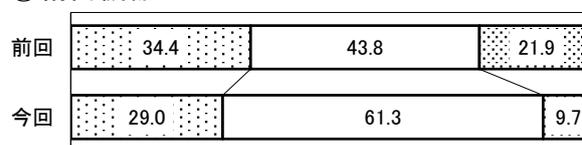
⑤電気機器



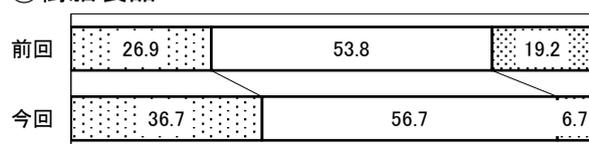
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

1月～3月期の全体の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は、14.4（前期差6.0ポイント上昇）と改善が見られた。

少しずつではあるが、調査ごとに「黒字」の回答が増えている。

○業種別

業種別DIは、樹脂製品で30.0（前期差22.3ポイント上昇）、鉄鋼・非鉄で27.3（前期差19.6ポイント上昇）と大きく改善が見られる。

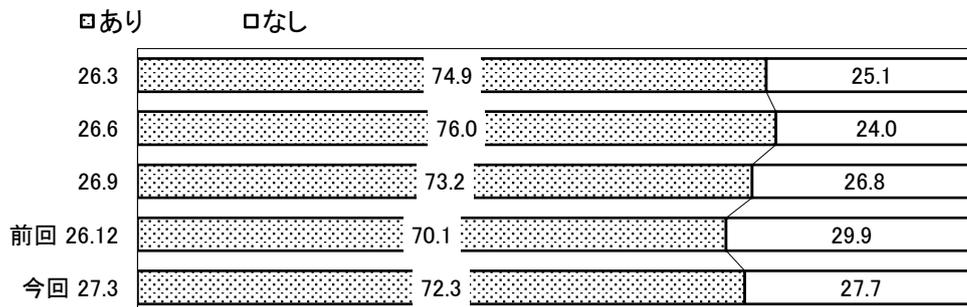
一般機器では、前回調査と同様、4割近くの企業が「黒字」と回答している。

前期差4.5ポイント上昇と若干の改善となった輸送用機器では△22.8と、今回も唯一DI値がマイナスとなっている。

(6) 受注余力について

(%)

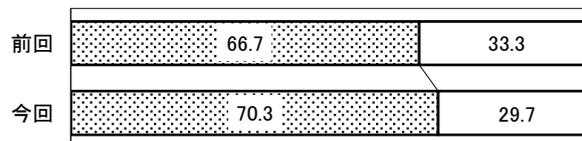
①全体



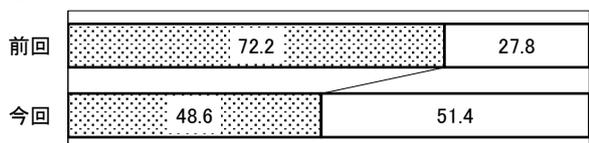
②鉄鋼・非鉄



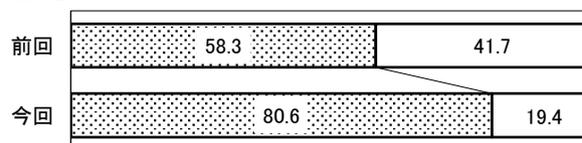
③金属製品



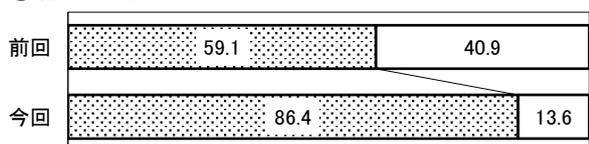
④一般機器



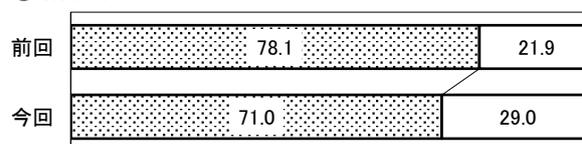
⑤電気機器



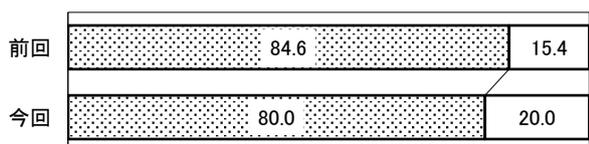
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

「受注余力あり」とする企業は若干増加し、72.3%と前期に比べて2.2ポイント増えている。

○業種別

受注量「悪化」、受注見通し「悪化」傾向の輸送用機器で「受注余力あり」が大きく増え、前回から27.3ポイントの上昇。

電気機器でも「受注余力あり」が大きく増加。

一般機器では、「受注余力あり」が大きく減少し、48.6%と半数以下となった。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134  
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-9234 FAX (075) 315-9240  
E-mail : [office@ki21.jp](mailto:office@ki21.jp)  
U R L : <http://www.ki21.jp>